

いちばん  
づくり課

## 東京で庄原への移住を考えるイベントを開催!

里山スタイル in 東京

「改めて庄原の魅力を知った」「とてもおいしく、食材に可能性を感じる」など高い評価を得たなかで、移住については「庄原には仕事が無いイメージがある。求人情報を東京でも発信できないか」「移住の決定権は妻にある。女性にどうアピールできるかが重要」など、率直な意見を聞く

この試食を通して「改めて庄原の魅力を知った」「とてもおいしく、食材に可能性を感じる」など高い評価を得たなかで、移住については「庄原には仕事が無いイメージがある。求人情報を東京でも発信できないか」「移住の決定権は妻にある。女性にどうアピールできるかが重要」など、率直な意見を聞く

東京都恵比寿にある庄原市出身者が経営するお好み焼き店で2月27日、「里山スタイル in 東京」と題し、庄原市への移住PRと首都圏から庄原市に移住することに對する意見を集めるイベントを開催しました。

当初1店舗で開催を予定していましたが、定員を大きく上回る申し込みがあり、系列店2店舗を会場に開催しました。広島県の県北出身者が多く集まったほか、地方に関心のある方など45人が参加。店舗内のテレビに本市のPR動画を映し、魅力を紹介したほか、庄原産食材を使った料理を提供し、感想を求めました。



①庄原の魅力を紹介する高林直樹地域おこし協力隊員／②PR動画を視聴する参加者／③好評だった比婆牛ステーキ

林業  
振興課

## 外来生物から農作物を守ろう

アライグマ・ヌートリア防除従事者養成講習会

参加した男性は「ヌートリアによる畑の被害が多く発生しているの、ヌートリアを捕獲し農業への被害を減らした」と話していました。

この講習会は庄原市が国の認定を受けて実施しているもので、この講習会を受講し防除従事者に登録することで、狩猟免許(わな猟免許)を持たない方でもアライグマ・ヌートリアを捕獲することができるようになります。

アライグマ・ヌートリア防除従事者養成講習会を3月1日、庄原市ふれあいセンターで開催し、外来生物による農業被害に悩む市民43人が参加しました。



講習会の様子

商工  
観光課

## 大学のゼミナールがまちなかに出張

しょうばら産学官連携セミナー 第2回サテライトゼミナール

参加者からは「地元山林の意見が聞けて参考になった」「建築材やペレット以外の利用について考えてみて楽しかった」との声が聞かれました。

このゼミナールは普段の生活ではなかなか接点のない「大学のゼミナール」をまちなかで開催することで、大学の専門的な知識や技術に触れ、親しみをもってもらうことを目的に開催しています。今回は「木材の利活用」について県立広島大学生命環境学部の小林謙介准教授を招きました。

しょうばら産学官連携推進機構は3月9日、楽笑座で第2回サテライトゼミナールを開催しました。

しょうばら産学官連携推進機構は3月9日、楽笑座で第2回サテライトゼミナールを開催しました。



楽笑座で大学のゼミ開催